

パネルディスカッション

SEALDs が問いかけたもの ～あなたはどうしますか？～

「石が叫ぶ」という言葉がある。ごく普通の人たちがものを言い始めることだろう。昨年の夏から若者が叫びだした。SEALDs という群は何だったのだろうか。普通の学生、若者が昨年の「戦争法」を巡って、立ち上がった。今年の参議院選挙までと自己限定して活動した。これはこの時代の大きなしるしではなかろうか。

それに対する評価や批判は様々であろう。しかし「あなたはどうしたか。」「あなたは どうする」という二人称での問いに対して、どう答えるのだろうか。この集会への参加者一人ひとりがその問いを自らにぶつけながらこの集会を持ちたい。選挙も政治も他人事ではない。専門 家や政治家に任せておけばいいものではない。自分たち普通の者の課題であり、できることである。それを示したのではなかろうか。

パネラー	片岡 希望	(同志社大学文学部学生)
	野間 陸	(同志社大学神学部学生)
	中村 あゆ美	(安保関連法に反対するママとみんなの会@京都)
	早瀬 和人	(日本キリスト教団宇治教会牧師)
司会	榎本 栄次	(日本基督教団牧師)

日 時 2016年 **12**月 **3**日 (土) 13:30～17:30

場 所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 1,000 円、学生 500 円 (コーヒー込み)

要申込み 11月30日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。

SEALDs (シールズ: Students Emergency Action for Liberal Democracy-s)

10代から20代前半の若い世代が、自ら思考し、そして行動することにより、自由で民主的な日本を守ることを目的とする、学生による緊急アクション。

2014年、秘密保護法に反対し行動を始めたSASPL (サスプル: Students Against Secret Protection Law/特定秘密保護法に反対する学生有志の会)、法律施行後、主に沖縄、辺野古基地問題に関する行動をしたex-SASPLの後継団体である。参院選を一つの区切りと位置付けた緊急行動であったため、2016年8月15日、解散した。

- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 パネルディスカッション
 15:00～15:30 コーヒーブレイク
 15:30～17:20 質疑とはなしあい
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2016年度 修学院フォーラム これからの予定

- 「社会」 第1回 10月8日(土)「宗教と戦争を考える 1」
 「旧約聖書における「聖戦」をめぐる」
 講師：勝村 弘也 (神戸松蔭女子学院大学名誉教授)
 第2回 11月12日(土)「宗教と戦争を考える 2」
 「新約聖書における暴力からの脱却について」
 講師：浅野 淳博 (関西学院大学神学部教授)
 第4回 2017年1月8日(日)～9日(月・祝)〈エネルギーを考える第5回〉
 「フクシマに聴くー私たちはいずこへー」
 講師：片岡 輝美 (会津放射能情報センター代表)、
 嘉田 由紀子 (びわこ成蹊スポーツ大学学長、前滋賀県知事)
 第5回 2017年1月28日(土)「政治と宗教」(仮)
 講師：佐藤 優 (作家・元外務省主任分析官)
- 「いのち」 第3回 2017年3月5日(日)
 「ピアノと賛美とお話」(仮)
 演奏とお話：菅野 万利子 (ピアニスト)
- 「福祉」 第2回 2017年2月25日(土) 共催：京都YWCA
 「キリスト教、仏教、神道から「死と葬儀」を考える」
 講師：宏林 晃信 (浄土真宗浄元寺住職)、江田 政亮 (貴布禰神社宮司)、
 福島 旭 (日本基督教団牧師・関西学院中学部宗教主事)



【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
<http://www.academy-kansai.org>
 電話 075-711-2117
 FAX 075-701-5256
 電子メール office@academy-kansai.org
 所長 榎本 栄次
 担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2016年度 修学院フォーラム「社会」第3回 参加申込書

名前 <small>(フリガナ)</small>	所属	(一般・学生)
住所〒		
電話 ()	— FAX ()	— 携帯 ()
電子メール:	@	
通信欄:		